

みょうじょういん
明星院

五島家代々の祈願所で、現在の本堂は第28代五島藩主盛運公が1778年に建立したもの。本堂は最古級の木造建築物として、日本遺産に認定されているほか、本堂・121枚の天井絵・主要な仏具仏器は県の有形文化財に指定されています。



おにだけ
鬼岳

標高315m、丸みを帯びたやわらかな形状で、山の上からは福江の市街地や海を望めます。麓には鬼岳天文台があり、美しい五島の星空を眺めることができます。



こうじゅうし
香珠子海水浴場

福江の中心地から車で20分ほどの場所にある、エメラルドグリーンの海と白い砂浜が美しい海水浴場。シーズン中は海の家も設置され、シャワーやトイレ、更衣室が利用できます。



あざんげ
鏡瀬溶岩海岸

溶岩でできた雄々しい海岸線は東西約7kmに渡り、周辺には遊歩道や展望台が整備されています。昨年4月にリニューアルオープンした鏡瀬ビジターセンターは、五島列島の景観・地質・動植物などの自然情報を映像や展示物で分かりやすく紹介しています。



武家屋敷通り

かつての中級武士たちの屋敷が並び通りで、今も残る石垣塀は、「こぼれ石」と呼ばれる玉石を載せた国内的にも大変珍しい構造。福江武家屋敷跡に造られたふるさと館では、歴史を紹介する展示コーナーのほか、バラモン風の絵付けなどが楽しめます。



五島観光歴史資料館

福江城(石田城)の丸跡に建てられた天守閣を模した外観が特徴で、福江島を中心とする五島列島の考古資料、歴史資料、美術工芸品、自然と暮らし、祭など、五島の歴史と文化を学べる総合的な資料館です。

つたえるけん
五島市

自然が美しく、魚がおいしい五島はそれに加えて人の温かさが移住者を引きつけています



今月のつたえるひと **桑田隆介**さん

対馬市厳原町出身。東京のアパレル会社に勤務した後、2016年に五島市に移住。デザイナーズホテル「hotel sou」、学童施設「おうとうのいえ」、移住者向け賃貸住宅「本山ヒルズ」、カフェ「ソトノマ」などを運営。

根底にあるのは、
五島のために何かできないか

移住のきっかけは、東京でアパレルブランドに勤めていた時に、仲間と共に地方のまちづくりをサポートする有志グループを組み、五島に通い始めたことです。「ソトノマ」というコミュニティカフェの有川和子さんたちがとても温かく良い方で、お世話になるうちに、「こんないいところなら住んでもいいな」という気持ちになりました。タイミンが良く、マグロ養殖を行っている会社に就職でき、多くの方に応援してもらいながら、五島での生活が軌道に乗りました。



コミュニティカフェ「ソトノマ」

その後、お世話になった五島のために何かできることはないかと思い始め、東京で働いていた頃の知人と五島初のデザイナーズホテル「hotel sou」を2020年にオープンしました。以前から付き合いのあった世界的建築家・谷尻誠氏が設計してくれたこともあり、建築雑誌などにも掲載され、全国からお客様が来てくださっています。また、「五島へ移住したいけど子どもを預けられない、住むところがない」といった声があることを知り、学童施設を併設した移住者用のファミリー向けアパート

五島市のお土産

五島で生まれた椿油のドレッシング
TSUBAKI DRESS

香珠子海水浴場のそばにある「五島椿物産館」の自家製海水塩、椿油、柚子胡椒を使用したドレッシング。柚子胡椒入りと柚子胡椒無しの2種類があります。

問合せ/五島椿物産館 ☎0959-73-5921



表紙のはなし『鏡瀬溶岩海岸から見た鬼岳』

約5万年前に鬼岳付近の火山の噴火で流れ出た溶岩で形成された鏡瀬溶岩海岸。海岸に造られた展望台からは、五島のシンボルとして市民に親しまれている鬼岳の穏やかで美しい姿を眺めることができます。

第30回五島椿まつり
五島うんまかもんフェス

五島椿まつり期間中に開催される地元食材を使った五島の食の一大イベント。新鮮な海の幸・山の幸のほか、手作りの加工品など、多彩な島グルメを楽しめます。



日時: 2月23日(金・祝) 11時~14時
18時~21時
2月24日(土)・25日(日)
18時~21時
場所: 外濠公園(五島市池田町)
問合せ: 五島椿まつり実行委員会
☎0959-72-2963

五島の冬の風物詩
第30回 五島椿まつり

「東の大島、西の五島」と並び称されるほど、椿の自生地として名高い五島。幻の銘花「玉之浦」を生んだ五島では、古来より人々の生活に広く、深く、椿が関わってきました。期間中は、日本一の生産量を誇る五島の椿を見ながら、島旅を楽しんでください。



期間: 2月23日(金・祝)~25日(日)
場所: 五島市内各地
問合せ: 五島椿まつり実行委員会
☎0959-72-2963

を建てました。学童施設は島の人たちと一緒に立ち上げたNPO法人で運営しており、活動の根底には「五島が暮らしやすいまちになり、元気になってほしい」という気持ちがあります。現在は有川さんと一緒にソトノマの運営も行い、僕が島の人からしてもらったことを次の方にもしてあげたいという思いで接客しています。五島への移住を少しでも考えている人は、とりあえずソトノマに寄ってみてください。僕は対馬出身で、現在住んでいるのは五島、母は対馬出身で、父は杵岐出身です。だから僕の中では、対馬も杵岐も五島列島も同じ島、チーム離島だと思っていて、将来は、五島で学んだことを対馬や杵岐でも生かしたいと思っています。